

# コトバカっ!



コトバカ  
言葉家……言葉を操る専門家。言葉にバカに詳しい人。言葉にバカみたいにこだわる人。

コトのほかバカ。コトによるとバカ。コピーライターの俗称。

上から読んでも相川藍、下から読んでも相川藍。コトバカの相川藍が言葉についてコトバカルっ!

## 迷走するコトバ

方向音痴なので、道を聞かれるのは恐怖だ。違う場所を教えた気が付いた日には、たまたま私に声をかけてしまった人の運命のゆくえを思い、激しく落ち込む。ただし完ぺきに答えられたときは嬉しくて、自分もなかなかやるじゃんと思いつける。たいていは「まっすぐ行ってそっちです」とか「あそこです」とか言いながら指をさす程度だけど。

その点、身ぶりが使えない電話は難関。たとえば事務所から出前を頼んだ場合。住所ではたどり着かず、至近距離から電話してくる人が多いのだ。私は恐る恐る「今どこですか？ 何が見えますか？」から始めるわけだが、これがひと苦労。「それを正面に見ながら左へ進んでください！」などと必死のやりとりをして一件落着。しかし、いくら待っても出前の人は来ないじゃないの。疲労感に加え、自分の説明はやはりダメだったのかという挫折感と、料理が冷めてしまうかもという危機感。まさに絶体絶命！

方向に関する言葉を見るだけで軽いパニックに陥る私。上りと下り、内回りと外回り、垂直と平行、東西南北、北北西、南南東、キヤーっ。

さすがに前後左右は身体感覚として把握している(つもりだ)けど、苦手なのが「うつぶせ」と「あおむけ」。マッサージなどで「じゃあウツブセになって」と言われると、え、どっちだっけと焦る。そのことを整体師さんに話したら「私もよく間違えますっ」だって。プロでも同じなのねと安心したけど、マッサージはそのくらいゆるめの人でないとリラックスできません。「次、アオムケ！ 違っ！」とか言われたら帰らなくなる。

「道順を指示してください」と指示するタクシードライバーも苦手だ。わかんないからタクシードライバーに乗るのに。目的地まで寝ていたいのに。あるとき運転手さんが突然焦りはじめ「ナビを見ると道があるんですけど……道、なくなってます。どうしますか!」と言った。私はめまいがしたけど「とりあえず現実を優先してください!」とお願いました。ああ、道順の指示さえできれば。

相川藍(言葉家)

丸の内文学賞(大賞)、朝日広告賞(最高賞)、インターネット書評コンテスト(最優秀賞)受賞。早稲田大学第一文学部卒。コピーライター。